



発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
 発行責任者 木村 格
 〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

●●基本理念●● 良い医療を安全に、心を込めて

新年明けましておめでとうございます

院長 木村 格



皆様、新年おめでとうございます。

新しい年の始まりは期待と可能性に満ち、とても神々しく感じます。人類は果てなく広がる宇宙の中の、たった一つの小さな星の上で生きています。その限られた所に肩を寄せ合って一緒に生活しています。人と人の小さな間違いや争いが、かけがえのない地球を破壊していきます。今年こそ日本から世界に、お互いを思いやり、相互に支え合うやさしい気持ちが育ち、豊かな自然の恵みが溢れることを祈りたいと思います。

昨年の秋に、英国のケンブリッジ大学でとても印象的な経験をしました。大学構内を散歩中、世界的に有名な物理学者スティーブン・ホーキング教授にお目にかかりました。全身の筋肉が麻痺する筋萎縮性側索硬化症(ALS)を持ちながらも、人工呼吸器と発声のためのコンピュータを付けた車椅子を駆使して、世界で活躍されています。その日はある除幕式のご挨拶のための外出だったようです。たくさんの支援者に囲まれたホーキング教授は街角の建物壁に組み込まれた新しい時計を披露しました。

除幕された時計は見たこともない奇妙なものでした。1.5メートルほどの金色の円盤の上にしがみついた巨大な昆虫が毎秒毎秒前足で何かをつまみ挙げ、顎に運び、むさぼり喰うというグロテスクな動きに驚きの声があがりました。単に過ぎ去って行く時間を示すこれまでの時計の概念から随分飛躍するものでした。翌日の朝刊にはこのユニークな時計の詳細が報道されました。

1秒1秒を残酷にむさぼり食らうその動作から、私たちは何を感じるのでしょうか。1時間毎に裏に仕組まれた木製の棺桶の中に重い鉄の鎖が不気味に落とされる時報が聞こえます。それぞれに残された人生の時間をどう過ごしたらよいのでしょうか。限られた自分の時間だからこそ、自分にとっても、また一緒に生きる全ての人に対しても大切にしなければと感じます。努力して人とよい関係を創造したいと感じます。

特に病院は人が心身共に苦しい時にお世話するところですから、なおさら優しく丁寧に接したいと思います。今年1年も、宮城病院の職員一同は『よい医療を安全に、心をこめて』を実行します。



第62回国立病院総合医学会

平成20年11月21日(金)～11月22日(土)にわたり、第62回国立病院総合医学会が東京国際フォーラムにて開催されました。参加された方の中から4名の方に感想をいただきましたのでご紹介いたします。



小春日和の11月20日、学会前日に開かれる臨床検査技師協議会に出席するため、東京国際フォーラムへと向かいました。有楽町駅前にそびえ立つ建物が会場だとすぐにわかりましたが、中へ入った途端に方向音痴のスイッチが入り迷子になり、迎えに来てもらった次第です。(泣)

翌日の学会は大勢の参加者、特に若い人達の姿が多く見られ、その熱気とパワーに圧倒されました。その力はこれからの国立医療機関を支え「医療の崩壊」をも打ち破るほどの大きな力になることを予感させるものでした。総合医学会は職種を超えた大勢が一堂に会する他にはない学術会議であり、懐かしい顔に会える機会でもあります。昔お世話になった方(かつて関信に在職していました)と二十数年ぶりに再会しましたが、名前が思い出せず「今、どちらに勤務されてますか?」と、とっさにネームプレートを手に取りながら名前を確認したのでした。顔は忘れていなかったから良しとするか。(大泣)



各ブースは中に入りきれず人があふれるほどの賑わいで、熱心な質疑応答がされていましたが、演者の声が聞き取りにくい、スペースが狭いこと等が来年の課題かと思われました。臨床検査部門では時代を反映してか、生理検査(特にエコー検査)の演題が多く基礎知識のない私はフムフム状態でしたが、気を取り直し聴講予定していたブースを駆け回り一日目が終了しました。翌日は朝一番からシンポジウム「病院経営と臨床検査部門」が予定されていたため、今夜の懇親会は控えめにしなくてはと、銀座の人混みの中を足早にホテルへと向かったのです。

今回、国立病院総合医学会に参加する機会を与えて下さいました関係者の皆様、並びに検査科員に深謝致します。

(臨床検査技師長 高石 俊一)

第62回国立病院総合医学会が「医療の心を求めて」というメインテーマのもとで開催されました。その中で、昨年、病棟で行った看護研究「開口拒否のある重症心身障害児(者)における口腔ケアの工夫」についてポスター発表をしてきました。発表とポスターを通じて何を伝えたいのかを明確にし、昨年の研究での患者様との関わりを再度振り返る機会となりました。発表後も実施した内容についての質問を受け、さらに具体的な説明をしました。



重症心身障害児(者)の口腔ケアの部門では、7題の発表があり、口腔ケアの改善に向けて様々な取り組みが行われていました。その発表を聞き、改めて患者様の個別性を重視し、統一した方法と関わりを持ち持続していくことで効果が得られると言うことを感じました。日々の看護を振り返ることができ、大変有意義なものとなりました。

今回の発表では、ベストポスター賞を頂くことが出来ました。お忙しい中、学会に参加させていただき、病棟、病院関係者の方に感謝申し上げます。

(あすなる3病棟看護師 會田 久美)



木の葉の形をした巨大メイン会場の各階は、緩いスロープと、吹き抜けを横切る天空の廊下を使って気持ちよく行き来することも出来ます。

更に広い会場いっぱいのポスター展示を脚が痛くなるほど見回って、1日1万歩の日課を難なくクリアしました。企業展示会場で見つけた脚力測定機では年齢20歳以下と判定され、ランチョンセミナーではおいしいお弁当を頂きながら歯科医師の職業病でもある腰痛の最新情報やその予防のヒントを得、口腔ケアのシンポジウムでは会場にあふれかえる聴衆の数に圧倒され

つつその関心の高さに驚き、続いて出席した班会議では中間報告と意見交換を行い、平原綾香さんのコンサートで「明日」と「ジュピター」に感激し、数年ぶりの歯科の懇親会では旧交を温めながら情報交換と実に内容の濃い2日間を過ごしました。

(歯科医長 中原 寛子)





私達研究メンバーは 筋萎縮性側索硬化症の患者の自己決定を支える看護 について話し合い、研究を行いました。看護研究の大変さを感じつつ、やりがいがあり、充実した経験ができました。

苦労した点は、研究のまとめ、また、2分間という発表時間の中に、伝えたい内容をまとめることでした。研究メンバーと何度も何度も話し合い、自分達の研究に自信が持てるものとなりました。

普段行っている自分達の看護について振り返ることが出来た事や、学会に参加し様々な発表を見る事は、貴重な経験となりました。これからの看護に活かしていきたいと思えます。

お忙しい中、学会に参加させていただき、関係者の方々に感謝いたします。

(b病棟看護師 熊田 美保)



クリスマスコンサート(第22回 病棟コンサート)を開催しました



去る12月25日(木) 神経難病センター多目的ホールにて第22回宮城病院病棟コンサートが開催されました。今回はクリスマスコンサートということでクリスマスにちなんだ曲と、それから少し気が早いですがお正月にちなんだ曲を含むプログラムとなりました。先々代の岩崎院長の発案で第1回の病棟コンサートが開催されてから、早いもので8年目に突入いたしました。今回も山元町内でピアノ教室を開いているらっしゃる伊藤守先生(ピアノ)、奥様で尚絅学院大学講師の京子先生(ピアノ)、山元養護学校の中山香緒里先生(ソプラノ)のご協力をいただきました。いつもいつも、本当にありがとうございます。

他にも多くの方々のお力添えをいただき、患者様、ご家族の皆様喜んでいただけるコンサートにすることができました。次回は4月、春のコンサートを企画いたします。どうぞよろしくお願い致します。

言語聴覚士長 高橋 信雄



職場紹介

～看護部長室～



新年あけましておめでとうございます。

東北の湘南と言われている宮城病院の看護部長室には冬とはいえ、今日も暖かな日差しが注がれています。この暖かな日差しに負けたくない、「あつい」看護部長室を紹介いたします。

心広く、そして暖かさで私たちが引っ張ってくださる鴫田看護部長を先頭に、看護部長室には心強いメンバーがいます。宮城病院をよく知り組織全体をキメ細やかに横断し、師長達からも信頼の厚い、菅原セイ子医療安全管理係長、そして昨年4月より教育担当師長としてフットワーク軽く、当院の教育を全般的に関わってくれている頼もしい丹野くみ子師長です。2人はそれぞれの視点で患者さんをよく看、スタッフにも関わっています。その視点の原点になっているのが当院の看護部の理念「優しさと、思いやりで信頼される看護をめざします」です。勿論、この理念を原点にして宮城病院の看護部は常に患者さんに寄り添うことを大切にしていることが日々の看護ケアの中から感じ取ることができます。

今年は病棟建替えや国立病院総合医学会副会長施設などさまざまな行事がありますが、1人1人それぞれの役割を丁寧に果たしていきたいと考えております。そして志高く、いつも「信頼される看護」を目指していきましょう。

今日も仕事は楽しく元気に!!今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

<副看護部長 渋谷 久美子>

紹介医療機関 (12月末日現在) ご紹介ありがとうございます。



- ・松村クリニック(106件)
- ・公立相馬総合病院(60件)
- ・やべ内科クリニック(36件)
- ・浜吉田駅前内科(33件)
- ・仙台厚生病院(25件)
- ・みやぎ県南中核病院(61件)
- ・金上病院(44件)
- ・平田外科医院(34件)
- ・山形外科医院(28件)
- ・東北大学病院(24件)

上位10医療機関のほか、県内外168医療機関からご紹介いただいております。

診療案内

平成21年1月1日現在

診療科別		月	火	水	木	金
内科			木村 格			清野 仁
		清野 仁	清野 仁		清野 仁	仙台医療センター医師
			米地 稔	米地 稔	米地 稔	米地 稔
		志澤 聡一郎		福井 晃矢	志澤 聡一郎	福井 晃矢
神経内科	新患	木村 格	清水 洋	久永 欣哉	藤盛 寿一	大隅 悦子
	再来	今井 尚志	今井 尚志	藤盛 寿一	久永 欣哉	清水 洋
		清水 洋	大隅 悦子	木村 格	木村 格	平岡 宏太良 (高次脳機能障害)
呼吸器科		芦野 有悟		今村 淳治		
消化器科		未 定				
循環器科		星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫	星 信夫
アレルギー科		堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩	大島 武子	堀川 雅浩
	午後		小児アレルギー (堀川 雅浩)	(第1・3)乳児健診	療育相談 (大島 武子)	
外科				小島 誠一 (13時から)		
整形外科		芳賀 盛 (14時から)				
形成外科						澤村 武 佐藤 裕香 週交代 (13時～17時15分)
脳神経外科		松本 乾児	安藤 肇史	松本 乾児	手術日	安藤 肇史
皮膚科					東北大(第4木)	
リハビリテーション科			大隅 悦子		大隅 悦子	
		齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐	齋藤 佐
歯科		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来	パーキンソン病外来			久永 欣哉		
	A L S 外来			今井 尚志	今井 尚志	
	もの忘れ外来					平岡 宏太良
	漢方外来	志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	頭痛外来	木村 格	木村 格	木村 格		
	脳ドック	木村 格	木村 格	木村 格		
	A G A 外来	木村 格			木村 格	

受診される方へ

受付時間は8:30～11:00です。

土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

ただし、救急の方は随時受け付けいたします。

お問い合わせ先 0223-37-1131

初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,625円を負担していただくこととなりますので予めご了承願います。

交通のご案内

自動車でおいでの方

仙台方面から

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。

相馬方面から

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

交通機関をご利用の方

仙台方面から

JR常磐線山下駅下車、タクシーで約5分

相馬方面から

JR常磐線坂元駅下車、タクシーで約5分

